

学校名	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校
所在地	鶴ヶ島市脚折1855番地
電話	049-286-0214

1 本校の概要

本校は、明治22年の4月に鶴ヶ島村にできた村立学校として発足し、今年度が開校135年目を迎える歴史と伝統のある学校である。児童数は435名、18学級（特別支援4学級を含む）である。目指す学校像として「やさしい言葉と笑顔をあふれ一人一人が輝く学校～なりたい自分になれる学校～」を掲げている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・読み聞かせボランティアとの連携
- ・学校図書等の環境設備の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

・朝の読書タイム

毎週水曜日の朝を読書タイムと設定して、読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせを実践している。また、読み聞かせをした本の紹介を図書室にて行っている。

・図書時間の設定（1～2年・特別支援学級）

週に1時間図書室利用の時間を設定し、本の貸出だけでなく、自由読書の時間、学校司書教諭による読み聞かせを行っている。

・10冊達成の児童へしおりプレゼント



しおり

イ 読書月間の取組

- ・図書委員会おすすめの本、本の良さの紹介（児童朝会・本のポップ制作）
- ・読書ビンゴカードの実施
- ・親子読書



ウ 読み聞かせボランティアとの連携



本の紹介

・朝の読書タイム

毎週水曜日の朝を読書タイムと設定して、読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせを実践している。また、読み聞かせをした本の紹介を図書室にて行っている。

・お話会の実施

読書月間期間に、読み聞かせボランティアの方が各学年に向けて大型絵本や大型紙芝居の読み聞かせをしている。

エ 学校図書等の環境設備の工夫

・本の整理整頓

利用しやすく環境づくりのために、図書委員会の活動として位置づけている。

・新刊コーナーの充実

新しい本が入ることを楽しみにしていたり入ったことに喜びを感じたりし、来室したくなるよう充実を図っている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

様々な取組により、昨年度に比べて貸出冊数が増加している。また、読書月間の「読書ビンゴカード」の取組は、普段読む機会が少ない詩や言葉の本なども目を通す良い機会となり様々な種類の本と触れ合うことができた。

(2) 課題

3年生以上の本の貸出が少ないため、おすすめの本紹介や新刊の紹介などを図書委員の活動に取り入れながらより多くの児童が本に親しめる環境を整えていきたい。

(3) おわりに

今後も図書委員の児童を中心に読書活動を進めていき、図書に興味をもつことができる取組を行うとともに、児童が図書室を利用する時間を確保していきたい。